（別紙4（2））

事業所名：グループホーム実夢青木

作成日：令和　　6年　3月　1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束適正化と虐待防止研修を1つにまとめて研修している。虐待防止に関する指針の策定や研修の実施については、24年度から単独で義務付けられることから、委員会・研修は、身体拘束適正化と虐待防止を区別して実施する必要がある。	身体拘束適正化研修と虐待防止研修をわけて実施する。	令和6年から身体拘束適正化研修を1月、7月、虐待防止研修を2月、8月の各2回実施。	12ヶ月
2	35 (13)	訓練実施で得た課題は、次回訓練へ継続して改善されることが重要なことから、課題を整理した訓練記録の整備をする。	防災訓練の実施時、訓練の様子を写真に収め、実施記録に添付する。	令和6年度防災訓練から写真を撮り記録する。訓練実施予定日は6月、12月	12ヶ月
3	35 (13)	災害時業務継続計画（BCP）では、事業所ごとの現状に即して、地域住民と連携した計画策定をする。	災害時業務継続計画（BCP）の計画策定をする。	自法人の介護保険部が作成したBCPを雛形として、実夢青木のものを策定する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。